

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
いちご (普通・高設)	人 2	いちご普通・高設		a	1. 品種「恋みのり」 2. 高設栽培 3. 炭酸ガス施用
		経営耕地面積	畑 10 a 水田 140 a	10	
経営目標	1 農業総収入	6,705	千円	4 1日当たり農業所得	9,143 円
	2 農業経営費	4,846	千円	5 1人当たり年間労働時間	814 時間
	3 農業所得	1,859	千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数 量	型式・構造・能力	所 有 割 合	取得価格	耐 用 年 数	年 間 償 却 額
					千円	年	千円
建 物 ・ 施 設	ビニールハウス	1	連棟補強 I 型(HK)ハウス 1,000㎡	1	10,752	14	384
	0	0	0	0	0	0	0
	高設栽培施設	1	一式 1,000㎡	1	5,674	7	405
	高設育苗施設	1	一式 1,000㎡対応分	1	1,818	7	130
	重油タンク	1		1	275	7	20
	防油堤	1		1	198	25	8
	電照施設	1	電照施設一式	1	1,436	7	103
	予冷庫	1	1.5坪	1	774	7	55
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 70㎡	1	6,616	24	276
	選果作業室	1	選果室 15㎡	1	1,418	24	59
農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,890	24	79	
	計				30,851		1,518
農 機 具	トラック	1	軽トラック	1	1,324	4	166
	動力噴霧機	1	可搬式、防除タンク(500L)	1	184	7	13
	高設用耕耘機	1	0	1	106	7	8
	加温機(75,000kcal(30タイプ)多段サーモ含む)	1	100,000kcal/h	1	1,588	7	113
	炭酸ガス発生装置	1	1600~1800㎡用	1	524	7	37
	循環扇	1	一式 1,000㎡	1	286	7	20
	自動換気装置	1	1000㎡用	1	1,072	7	77
	環境モニタリング装置	1	一式	1	159	7	11
	計				5,243		445

3. 技術体系 (いちご 普通)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(高設育苗) 親株植付け		10月下 ~11月上	高設育苗 施設一式	2	12	24		雨よけ点滴高設育苗 プランタ使用 3株/1プランタ 専用親株 1000株 333鉢×3株
施肥		10月下 2月下		2	2	4	肥効調節型肥料	プランタ施肥量(親株) 基肥 IB化成10粒/株または 被覆磷硝安加里(70日) 15g/株 追肥 IB化成10粒/株
親株管理	ランナー配置 追肥 病害虫防除	11月上 ~ 6月中	かん水施設	2 1 1	35 3 3	70 3 3		防風対策 ポット配置 14cm×14cm間隔 県病害虫防除基準による
鉢上げ	ポット準備 鉢上げ ランナー切断	5月上 ~6月中	トラック	2	58	117	9cmポット 9,000鉢	本葉2枚(発根初め)頃に行う 定植苗 7,000鉢 専用親株 600鉢 予備苗 1,400鉢
育苗ポット 管理	かん水 追肥 摘葉	6月上 ~9月上	かん水施設	2	81	161	置き肥	N成分 100~200mg/ポット
病害虫防除	耕種的防除	2月下 ~9月中	動力噴霧機	2	27	54		炭そ病、うどんこ病の 防除を行う
(高設栽培) 床土消毒	太陽熱消毒 温湯消毒	7月下 ~8月中		2	4	8		最低50℃以上を目安とし 2週間程度ポリマルチで被覆
施肥	基肥施用 追肥施用	8月下 10月上 ~4月	トラック	2 1	4 1	8 2		高設用耕耘機の活用 全面施用 基肥成分量(マルチ前施肥込み) N 20kg P2O5 19kg K2O 17kg
定植準備	かん水資材 設置	8月下 ~9月中	トラック	2	3	6		

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
定植		9月中 ～下	トラック	2	28.5	57		栽植様式(2条、千鳥) 株 間: 20cm 10a当たり 7,000株
マルチ		10月中		2	10	20	白黒ポリフィルム	マルチはうね肩まで上げ 天井ビニール被覆後 下げる
保温準備	ビニール張り	10月下	トラック	4	9	36	ビニール厚さ 0.075mm以上	暖房機の保守点検
管理	誘引 摘葉、玉だし 摘果	10月中 ～3月下		2 2 2	6 25 5	12 50 10		下葉かぎは古葉・黄化葉等を中 心に随時行う。 玉出しは不受精果や発酵果、灰 色かび病等の防止のために必ず 行う。 摘果も大玉生産、品質向上のた めに行う。
交配	蜜蜂放飼	10月中～	トラック	1	2	2	蜜蜂	6aに一群
温度管理	保温、換気 炭酸ガス施用	11月上 ～3月中	トラック 加温機 炭酸ガス発生 装置 循環扇 自動換気装 置 環境モニタリ ング装置	1	73	73		二重カーテン設置 日中 午後 25℃ 夜間 6℃以上 早期加温(日の出前から日の出 にかけて2時間程度)
	下温処理	3月中～	動力噴霧機	2	2	4		下温処理 寒冷紗の高張りまたは 遮光資材の塗布
かん水		9月上 ～5月下	かん水施設	1	35	35		定植後から十分にかん水を行 い、早期の活着を目指す。 栽培中はこまめなかん水を行う。
病虫害 防除	薬剤散布 耕種の防除	9月下 ～5月下	動力噴霧機	2	25	50		県病虫害防除基準による
収穫出荷		11月下 ～6月上	トラック	3.5	228	798		取扱は丁寧に行う。 4月以降は品質向上のために 早期どりを行う。
後かたづけ		7月上 ～7月中	トラック	2	10	20		
計						1627		

4. 品目の作付体系 (☆親株定植、▼ランナー切断、△定植、□収穫、○電照)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いちご (普通・高設)									△	☆	○

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
親株植付け																									24		
育苗管理						2	2	2	9	11	12	29	29	19	19	19	19	19	19	2					412		
定植準備																				2					24		
定植																									57		
マルチ張り他																									56		
肥培管理	7	7	7	12	14	14	14	15	17	10	7	5	1	1	1	8	8	8	4	4	8	5	2	3	4	186	
病害虫防除	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	50	
収穫出荷	50	50	50	60	50	50	60	50	50	25	15															798	
後かたづけ														15	5											20	
計	59	59	59	74	66	68	78	69	71	81	70	69	74	74	74	57	29	29	29	29	25	84	10	8	26	60	119
月計	177			208			218			205		87		83		67				94		36		113		1627	

6. 総労働時間 (全面積)

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
総労働時間	59	59	59	74	66	68	78	69	71	81	70	69	74	74	74	57	29	29	29	29	25	84	10	8	26	60	119
うち家族労働	59	59	59	74	66	68	78	69	71	81	70	69	74	74	74	57	29	29	29	29	25	84	10	8	26	60	119
うち常時雇用																											
うち臨時雇用																											0